

今日の 米原高校 番外編

7月29日～31日の3日間、毎年恒例である、理数科1年生の野外実習が実施されました。

この実習は地学・生物分野の内容を中心として、フィールドや博物館で本物に触れ、自身の中の新たな興味・進路希望を見つけるために、毎年実施されているものです。

また、この3日間を通して、今まで話したことのなかったクラスメイトとも仲を深め、これから先の3年間の団結の礎を築くことができます。



1日目 福井県(恐竜博物館・越前松島水族館)



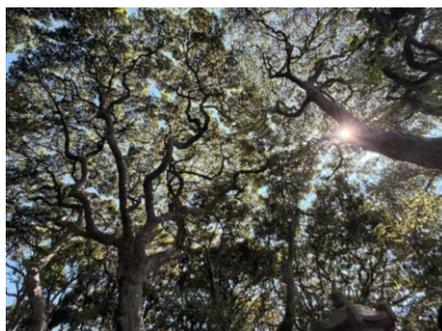
◀ 恐竜博物館では、研究者の方から恐竜の分類や、アンモナイトの示準化石としての有用性についての講義を受け、終了後も質疑応答が盛り上がりました！

松島水族館では、自分たち ▶ で磯の海に潜り、ウニやカニ、ウミウシなどの観察を行いました(許可を得て行っています)。その後、水族館内でイルカやペンギンを観察しました。



2日目 福井県(雄島)、富山県(富山大学・立山カルデラ砂防博物館)

雄島では原生林の観察と ▶ 柱状節理・板状節理・流理構造の観察をしました。今回最初のフィールドでは、まだ比較的涼しい朝にも関わらず、暑さの洗礼を受けました。





◀ 富山大学(左)では、OBの先輩から、進路や勉強についてのアドバイスをもらい、学食体験などをしました。博物館(右)では、雪崩の実験や、砂防関連の展示で、堆積物が引き起こす災害について学びました。



3日目 富山県(室堂平・雄山)



室堂平では、高山植物の観察 ▶ や、氷河地形(カール)の観察を行いました。昨冬は雪が多かったようで、この夏はたくさんの雪渓が残っていました。



◀ 険しい道も皆となら！花崗岩や片麻岩を観察しつつ、雄山3003m登頂。山頂ではお菓子の袋がパンパンに膨らんでいました。最高峰は快晴、絶景が広がっていました(下)。

暑さが心配な実習でしたが、全員大きな怪我もなく、大きな経験を得て帰ることができました。お世話になった関係者の皆様、快くお子様を見送ってくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

